

探究学習を

ICT活用で豊かな学びに

株式会社 大修館書店

どのような場面でもどのような機器を活用することが効果的なかを考えることができます。大切になってきます。(米田先生)

■探究学習でこそ端末を活用すべき

こうして取り組みを本格化せねばならない探究学習と端末活用。実は探究学習でこそ、端末を使うメリットが大きいと米田先生は語る。

探究学習では、教科学習以上にICTを取り入れた学びが効果的なものとなります。「活動の記録を個別に整理しやすい」「考えや情報をデータで蓄積していくと、その後の整理・分析が容易になる」「発表・表現の力がつく」「スライドでも論文でも、端末で発表資料を作成することで社会で通用する能力が身につく」「考えの整理や発表資料の作成でつまづいたときにも、データなら何度でも簡単にやり直せ、試行錯誤ができる」「学びのポートフォリオが作れる」、こうした点がメリットとして挙げられます。(米田先生)

■「アクチュアル」なら探究学習×端末活用が実現できる

このように端末そしてICTをフル活用することで探究学習は充実したものとなる。これを踏まえて開発されたのが、米田先生が編集委員代表を務める大修館書店のオンライン型探究教材「アクチュアル」だ。



■いよいよ探究学習が始まる

来る令和四年度から高等学校の学習指導要領が新しくなり、新1年生から順次「総合的な探究の時間」が必修となる。先行実施で既に取り組んでいる学校も少なくないが、専任教員がいない、教科横断型の学習であるなど、探究学習に取り組むには様々な課題がつきまとう。こうした探究学習の現状と今後について、アクティブ・ラーニングの第一人者である、関西学院千里国際中等部・高等部教諭の米田謙三先生に話を伺った。



■そして端末活用も始まる

令和四年度に起こる変化としてもう一つ忘れてはならないのが、高等学校での生徒一人一台端末整備だ。GIGAスクール構想で小中学校へ端末が行き渡ったり、いよいよ今度は高等学校への端末整備の検討が急速に進んでいる。勤務校ですでに一人一台環境を実現している米田先生は、端末活用が有する意義をこう説く。

「公正に個別最適化された学び」を実現するため、ICTを基盤とした先端技術や教育に係るデータを活用する意義を文部科学省が強調しています。ポイントとしては4つ、①学びにおける時間・距離などの制約を取り払う、②学びの知見の共有や生成、教師の経験知と科学的視点のベストミックス、③個別に最適で効果的な学びや支援、④校務の効率化、学校における事務を迅速かつ便利、効率的に、以上が挙げられます。

■悩み深き探究学習

今、小中高どの学校種でもSDGsをテーマに取り組んでいる学校が増えています。新学習指導要領では生徒を「持続可能な社会の創り手」に育てることが明記されました。本校でも高校2年生の「総合的な探究の時間」で、フィールドスタディ(研修旅行)

■「アクチュアル」の魅力

「アクチュアル」の特徴は、まず何よりもLMS（学習管理機能）によって探究学習を二元管理できる点にある。活動の指示やワークシート・成果物等の提出管理が容易になる上、ワークシートや成果物が全てデータで履歴として残るので、先生も生徒も探究学習の取り組みや振り返りがスムーズに行えるよう

になる。

また、「アクチュアル」には2〜3コマで完結する導入教材が多数あり、探究学習に慣れない学校でもすぐに取り掛かれる点も際立つ特徴だ。教材には授業展開案（指導案）も付いており、この授業展開案には探究学習の課題とされる観点別評価も具体例が示されている。こうした導入教材には、「地域のために何ができるか?」、「SDGsを自分ごと化する」など、教育旅行とも関連の深い地域創生やSDGsをテーマにしたものや、「チーム（クラス）ルールをクリエイトしよう!」という、教育旅行でのグループ運営を生徒自身に考えさせることのできる教材も含まれている。

そして「アクチュアル」の教材は、現場経験者の実践事例がもとになっている点も特筆すべきポイントだ。現場をよく知る教員が編集委員として集まり作った教材なので、探究学習を何から始めたらいいかわからない学校はもちろん、今取り組んでいる探究学

習をより深めていきたい学校でも充分活用できるものとなっている。

■「アクチュアル」で探究学習を豊かな学びに

「総合的な探究の時間」や端末の活用悩む先生は、まずはこの「アクチュアル」を是非使ってみていただきたい。「アクチュアル」には、ICTの活用によって探究学習を豊かな学びへと導けるという、他にはない魅力がある。

【商品情報】

「アクチュアル」大修館探究オンライン」

●動作環境（OS：ブラウザとも最新版を推奨。）

・OS：Windows10／ChromeOS／iPadOS

・ブラウザ：Microsoft Edge／Google Chrome

／Safari

●価格（生徒用ID）

・100ID以下：101円につき年間
1,100円（税込）

・101ID以上：個別相談

【問い合わせ先】

大修館書店 デジタル事業開発部

TEL：03-3868-2603

e-mail：t-yamaguchi@taishukan.co.jp

URL：https://www.taishukan.co.jp/

tankyu/（大修館書店 教科

書・教材サイト「探究活動」



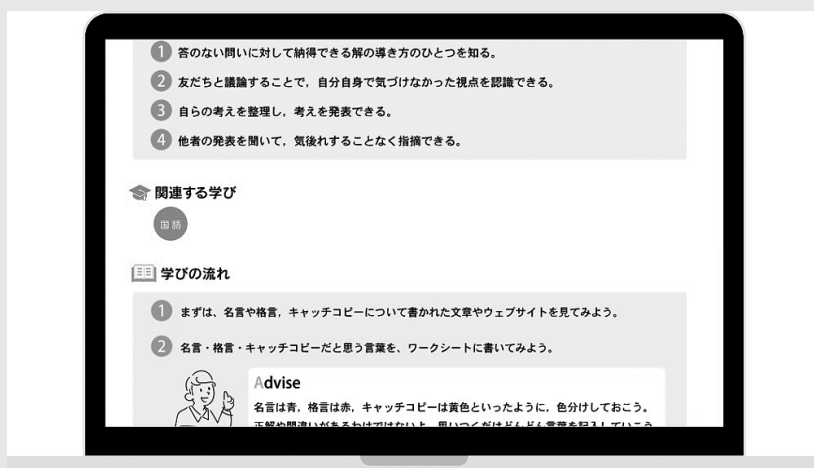
●「アクチュアル」の画面（予定）



学習履歴画面



先生用画面入り口



単元画面